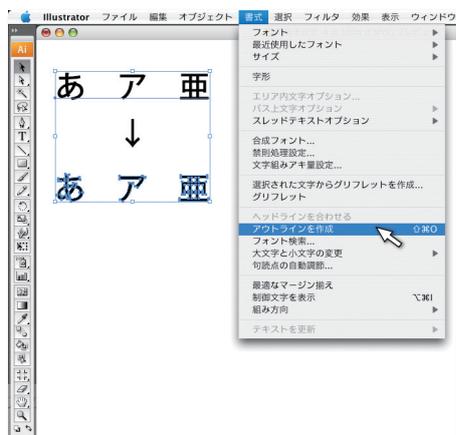


1. 書体（フォント）のアウトライン化



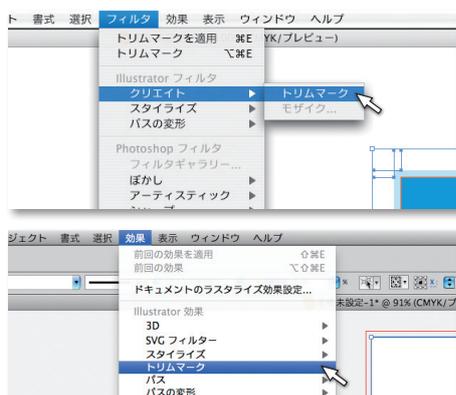
書体を全て選択し、「書式」メニューから「アウトライン作成」を選択してください。

アウトライン化後は、「書式」メニューの「フォント検索」で使用中のフォントが空欄になっているかご確認ください。

※フォントやレイヤーがロックされているとアウトライン化できませんので、必ず全てのロックを解除してからアウトライン化してください。

※アウトライン化をすると、文字の編集ができなくなりますのでバックアップを取ってから行ってください。

2. トンボと塗り足しの作成

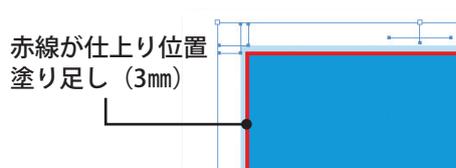


■トンボ作成

長方形ツールで仕上がりサイズのボックスを作成します。次に作成したボックスの塗りと線を「なし」にしてから、ボックスを選択した状態で「フィルタ」メニューから「クリエイト」の「トリムマーク」を実行してください。

■CS4、CS5のトンボ作成

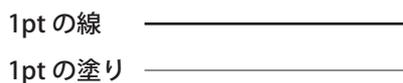
塗りと線を「なし」にしたボックスを作成後、「効果」メニューから「トリムマーク」を実行してください。



■塗り足しの作成

仕上がり位置で断裁されるオブジェクトは、仕上がり位置より3mm外側に作成してください。塗り足しがないと化粧断裁時に紙の色が見える事があります。

3. ラインとヘアライン



線を塗りの設定にしていると、きわめて細かい線（ヘアライン）で出力されてしまいますのでご注意ください。

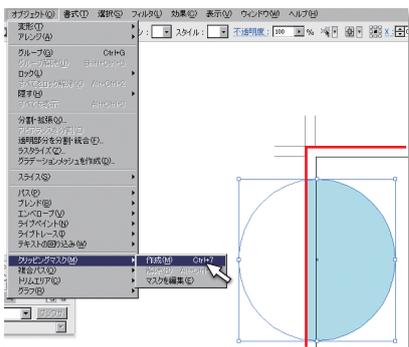
※実際には左図より細かい線になります。

4. オーバープリント



オーバープリントを設定した場合は、設定箇所を指示してください。（当社出力機の設定は **CMYK ノックアウト** になっています）

5. オブジェクトの配置



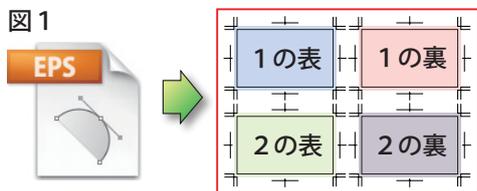
トンボの外よりオブジェクトがはみ出ないように、マスクを適用してください。

左図の赤線のように塗り足し込みのサイズでボックスを作りはみ出したオブジェクトと一緒に選択して「オブジェクト」メニューから「クリッピングマスク」の「作成」で作成します。

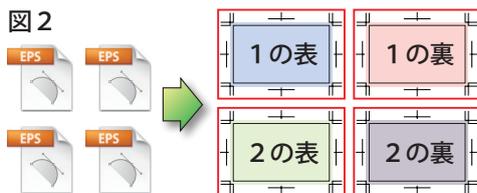
※複数のオブジェクトにマスクを適用する場合は、はみだしたオブジェクトをグループ化してから適用してください。

※必ずオブジェクトとレイヤーのロックを解除してから行ってください。

6. 複数ページ作成



頁物印刷物や多面付け印刷に対応できませんので、図1のように一つのファイルに複数のオブジェクトを並べて保存せず図2のようにオブジェクトは別々に保存してください。



7. レイヤー



レイヤーツールボックスのメニューから「すべてのレイヤーを結合」で一つのレイヤーにしてください。

※マークが表示されていない非表示レイヤーのオブジェクトは結合時に消えてしまいますので気をつけてください。

8. カラーモード



○出力時に CMYK に変換されるため、RGB の場合は色が変化するので、「CMYK カラー」を選択してください。

○裏写りの原因になりますので 4 色総ベタは使用しないで下さい。リッチブラック使用時は K100%CMY 各 30%程度にしてください。

○特色は使用しないでください。

9. レジストレーションカラー

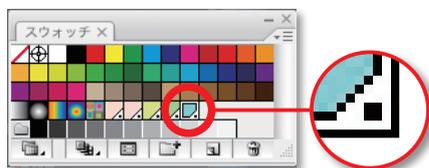


仕上りの範囲内で、スウォッチパレットにある「**レジストレーションカラー**」を使用すると **C100M100Y100K100** の総ベタになり、仕上りの問題が発生しますので、**使用しないでください**。

10. スポットカラー（特色）

スポットカラー（特色）は、特にご指定が無い場合は CMYK 4 色に変換します。特色を CMYK で表現できる範囲内で変換するので、色が大きく変わってきます。

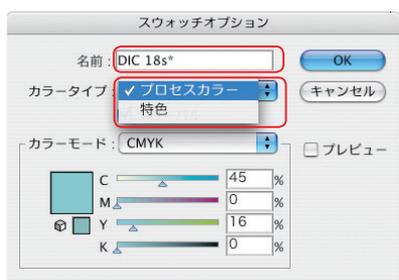
トラブルの原因になりますので、ご入稿の際はご確認の上、CMYK に変換するようお願いします。



左図の拡大部分のようにマークがついているものがスポットカラーです。



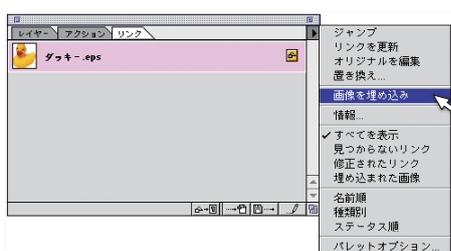
スウォッチパレットから「**スウォッチオプション**」を開きます。



カラータイプを「**プロセスカラー**」にしてください。

※名前を付ける場合は他の色と違う名前を付けるようにしてください。複数のページをリンク配置する場合に、同じ名前だと出力時に色が変わってしまいます。

11. 配置画像 (Illustrator 9・10)



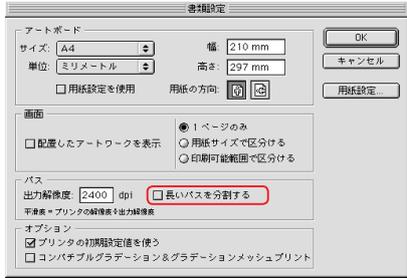
☑ マークがあれば、画像を**埋め込み**ます。

※配置画像に透明効果を使用したり、透明効果を使用したオブジェクトを画像に重ねたりすることで発生します。

12-1. 書類設定・ラスタライズ解像度

書類設定は「ファイル」メニューから「書類設定」で開きます。

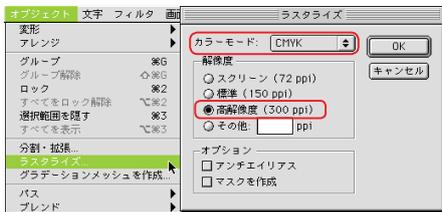
※ CS2、CS3は「ドキュメント設定」となっています。



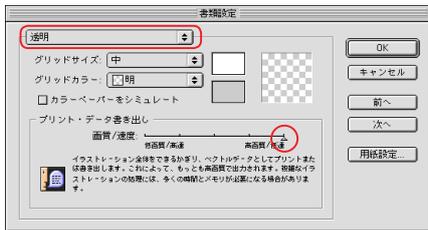
■ Illustrator 8

書類設定を開きます。

出力解像度を **2400dpi (ppi)** にします。



「オブジェクト」メニューから「ラスタライズ」を開いて、カラーモードを「CMYK」にし、解像度を「高解像度」にしてください。

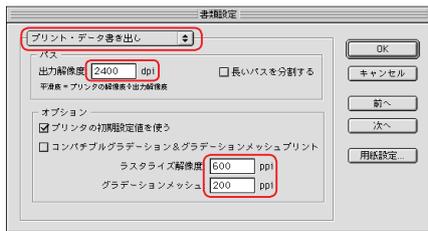


■ Illustrator 9

書類設定を開きます。

「透明」を選択します。

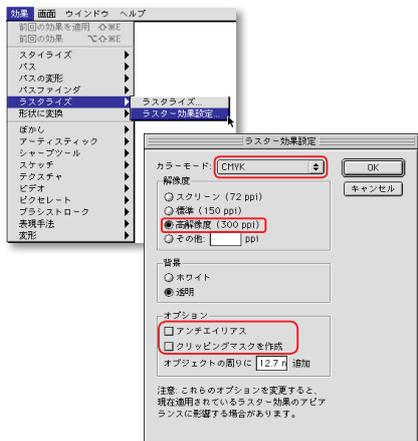
画質 / 速度スライダを「高画質 / 低速」(右端) にします。



「プリント・データ書き出し」を選択します。

出力解像度を **2400dpi (ppi)** にします。

ラスタライズ解像度を **600ppi (ppi)**、グラデーションメッシュを **200dpi (ppi)** にします。



「効果」メニューから「ラスタライズ」の「ラスタ効果設定」を開きます。

カラーモードを「CMYK」にします。

解像度を「高解像度」にします。

※ オプションにチェックを入れないでください。

12-2. 書類設定・ラスターライズ解像度



■ Illustrator10

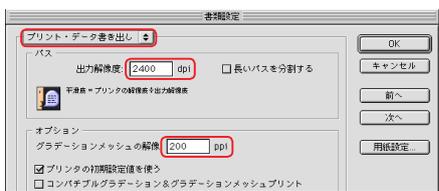
書類設定を開きます。

「透明」を選択します。

ラスターライズ/ベクトルスライダを 99（ベクトル側）にします。

ラスターライズ解像度を 600dpi (ppi) にします。

チェックボックスにチェックは入れないでください。



「プリント・データ書き出し」を選択します。

出力解像度を 2400dpi (ppi) にします。

グラデーションメッシュの解像度を 200dpi (ppi) にします。



「効果」メニューから「書類のラスター効果設定」を開きます。

解像度を「高解像度」にしてください。



■ IllustratorCS・CS2・CS3

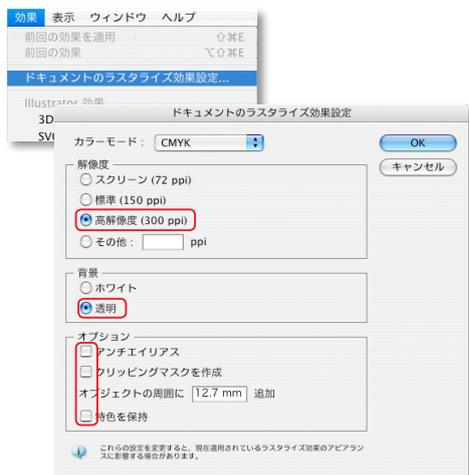
書類（ドキュメント）設定を開きます。

「透明」を選択します。

書き出したクリップボードにおける分割・統合を「高解像度」に設定します。



「カスタム」をクリックし、ラスターライズとベクトルのバランスを 100、ラインアートテキストの解像度を 600dpi (ppi)、グラデーションメッシュとメッシュの解像度を 200dpi (ppi) にします。



「効果」メニューから「書類（ドキュメント）のラスターライズ効果設定」を開きます。

解像度を「最高画質」にします。

背景を「透明」にします。

※オプションにチェックを入れないでください。

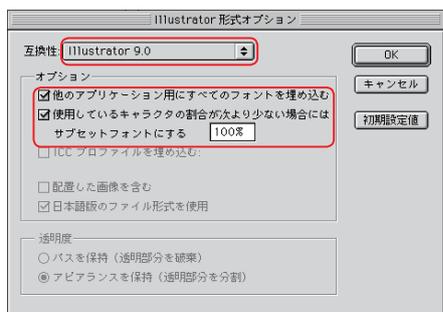
13-1. Illustrator 形式での保存 (ai ファイル)

- 「ファイル」メニューより「別名で保存」を選択し、ファイル形式を Illustrator に設定して、「保存」。
- ※ファイル名に拡張子「.ai」がつくようにしてください。
- ※必ず作成したバージョンで保存するようにしてください。
- ※不要なデータは取り除いてください。
- ※配置後にファイル名を変更したりフォルダを変更するとリンクが切れます。
- ※オプションの「配置した画像を含む」は、リンク画像を一緒に入稿された場合はチェックを入れなくて大丈夫です。リンクファイルが無い場合はグレー表示で選択できません。



■ Illustrator 8

互換性は「8.0」を選びます。
「OK」をクリックで完了です。



■ Illustrator 9

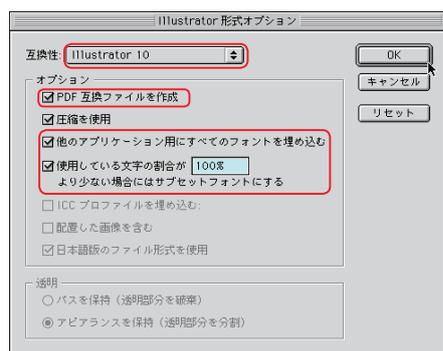
互換性は「Illustrator9.0」を選びます。

「他のアプリケーション用にすべてのフォントを埋め込む」に**チェック**を付けてください。

「使用している文字の割合が次より少ない場合にはサブセットフォントにする」に**チェック**を付けてください。

「ICC プロファイルを埋め込む」の**チェック**を解除してください。

「OK」をクリックで完了です。



■ Illustrator10

互換性は「Illustrator10」を選びます。

「PDF 互換ファイルを作成」に**チェック**を付けてください。

「圧縮を使用」は**チェック**をつけなくても OK。

※**チェック**を入れると保存速度が遅くなりますが、ファイルサイズが小さくなります。

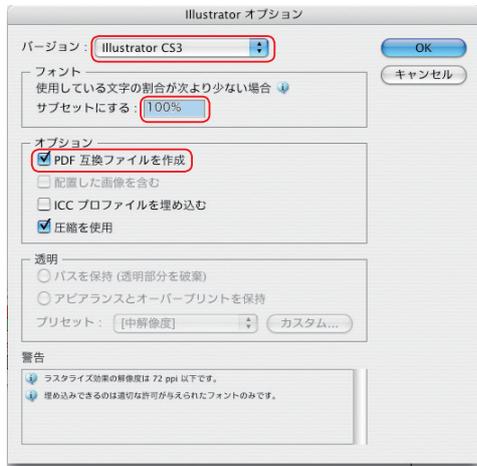
「他のアプリケーション用にすべてのフォントを埋め込む」に**チェック**を付けてください。

「使用している文字の割合が 100%より少ない場合にはサブセットフォントにする」に**チェック**を付けてください。

「ICC プロファイルを埋め込む」の**チェック**を解除してください。

「OK」をクリックで完了です。

13-2. Illustrator 形式での保存 (ai ファイル)



■ IllustratorCS ～ CS5

バージョンは、各作成バージョンを選択してください。

※左図は CS3 なので「IllustratorCS3」を選びます。

「使用している文字の割合が次より少ない場合サブセットにする」を「100%」にします。

「PDF 互換ファイルを作成」に**チェック**を付けてください。

「ICC プロファイルを埋め込む」の**チェック**を**解除**してください。

「圧縮を使用」のチェックは付けなくても大丈夫です。

※チェックを付けると保存速度は遅くなりますが、ファイルサイズは小さくなります。

「OK」をクリックで完了です。

14-1. Illustrator EPS 形式での保存 (eps ファイル)

「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択し、ファイル形式を「IllustratorEPS」にして「保存」。

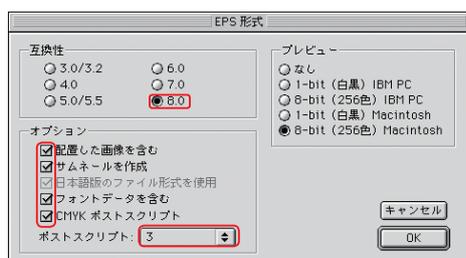
※ファイル名に拡張子「.eps」がつくようにしてください。

※必ずバージョンをおとさず保存するようにしてください。

※不要なデータは取り除いてください。

※配置後にファイル名を変更したりフォルダを変更するとリンクが切れます。

※オプションの「配置した画像を含む」はリンクファイルが無い場合、グレー表示で選択できません。



■ Illustrator 8

互換性は「8.0」を選びます。

「配置した画像を含む」に**チェック**を付けてください。

「サムネールを作成」に**チェック**を付けてください。

「フォントデータを含む」に**チェック**を付けてください。

「CMYK ポストスクリプト」の**チェック**を付けてください。

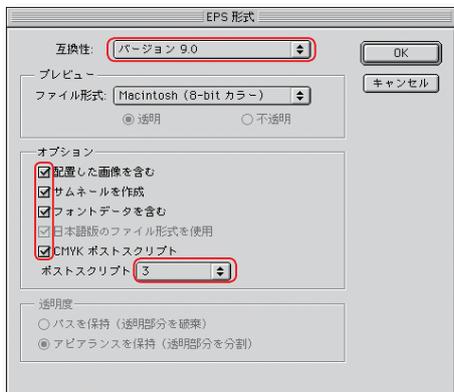
ポストスクリプトは「3」を選びます。

「OK」をクリックで完了です。

14.2. Illustrator EPS 形式での保存 (eps ファイル)

■ Illustrator 9

互換性は「バージョン 9.0」を選びます。

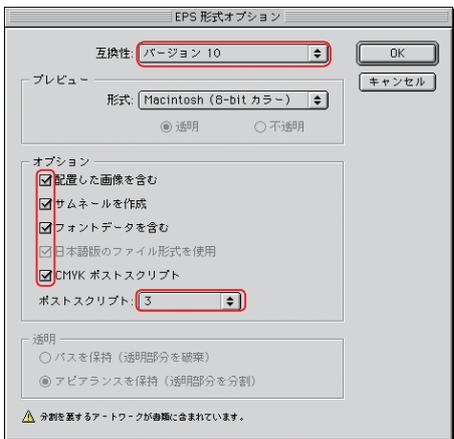


「配置した画像を含む」に**チェック**を付けます。
 「サムネールを作成」に**チェック**を付けます。
 「フォントデータを含む」に**チェック**を付けます。
 「CMYK ポストスクリプト」に**チェック**を付けます。
 「ポストスクリプト」は「3」を選びます。

「OK」をクリックで完了です。

■ Illustrator10

互換性は「バージョン 10」を選びます。



「配置した画像を含む」に**チェック**を付けます。
 「サムネールを作成」に**チェック**を付けます。
 「フォントデータを含む」に**チェック**を付けます。
 「CMYK ポストスクリプト」に**チェック**を付けます。
 「ポストスクリプト」は「3」を選びます。

「OK」をクリックで完了です。

■ IllustratorCS ~ CS5

バージョンは、各作成バージョンを選択してください。

※左図は CS3 なので「IllustratorCS3」を選びます。

透明の

「オーバープリント」は「保持」を選びます。

「プリセット」は「高解像度」を選びます。

フォントの

「他のアプリケーション用にフォントを埋め込む」に**チェック**を付けます。

オプションの

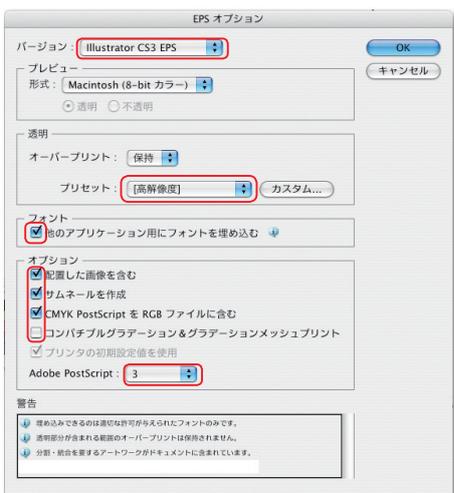
「配置した画像を含む」に**チェック**を付けてください。

「サムネールを作成」に**チェック**を付けてください。

「CMYK PostScript を RGB ファイルに含む」に**チェック**を付けてください。

Adobe PostScript は「3」を選びます。

「OK」をクリックで完了です。



アプリケーション対応表

Adobe 社製品対応状況

Illustrator 対応表	WinXP	Vista	Windows 7	Mac OS9	Mac OSX
Illustrator 8.0	×	×	×	○	×
Illustrator 9.0	○	×	×	○	×
Illustrator 10	○	×	×	○	×
Illustrator CS	○	×	×	×	○
Illustrator CS2	○	×	×	×	○
Illustrator CS3	○	×	×	×	○
Illustrator CS4	○	×	×	×	○
Illustrator CS5	○	×	×	×	○
Photoshop 対応表	WinXP	Vista	Windows 7	Mac OS9	Mac OSX
Photoshop 5.5	×	×	×	○	×
Photoshop 6.0	×	×	×	○	×
Photoshop 7.0	×	×	×	○	×
Photoshop CS	○	×	×	×	○
Photoshop CS2	○	×	×	×	○
Photoshop CS3	○	×	×	×	○
Photoshop CS4	○	×	×	×	○
Photoshop CS5	○	×	×	×	○
InDesign 対応表	WinXP	Vista	Windows 7	Mac OS9	Mac OSX
InDesign 2.0	○	×	×	○	×
InDesign CS	○	×	×	×	○
InDesign CS2	○	×	×	×	○
InDesign CS3	○	×	×	×	○
InDesign CS4	○	×	×	×	○
InDesign CS5	○	×	×	×	○

※ Adobe InDesign のネイティブデータでのご入稿はしないでください。

Office 関係対応状況

Office 対応表 (Windows のみ)	Word	Excel	PowerPoint	Publisher
Office 95	×	×	×	×
Office 97	×	×	×	×
Office 2000	○	○	○	×
Office XP (2002)	○	○	×	×
Office 2003	○	○	○	×
Office 2007	○	○	○	×
Office 2010	○	○	○	×

※ Windows Vista 版・7 版には対応していません。

※ Windows XP にメイリオフォントを入れている環境には対応していません。